

2019年度文化経済学会<日本>研究大会のご案内

2019年
6月29・30日
(土・日)

2019年度研究大会は、名古屋・名城大学にて開催します

大会テーマは 「2020年東京オリ・パラへの文化経済学的接近」

2019年度文化経済学会<日本>の研究大会を、2019年6月29日(土)・30日(日)の日程で、名古屋市名城大学天白キャンパス(共通講義棟北(N館))にて、開催いたします。今年度は、いよいよ来年に控えた、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な方向からアプローチをしてみたいと存じます。

1. 開催情報

- ・ 日程 2019年6月29日(土)～30日(日)
- ・ 会場 名城大学天白キャンパス
愛知県名古屋市天白区塩釜口1丁目501
- ・ 参加費 事前申し込み
会員 4,500円
非会員 5,500円
学部生および減免申請書を提出した大学院生
2,000円(学生証をお持ち下さい)
- ・ 参加費 当日受付
会員 5,500円
非会員 6,500円
学部生 2,000円(学生証をお持ち下さい)

※前年度会費未納の会員は、事前申し込みは不可、

当日受付のみで参加費は6,500円です

※文化経済学会<日本>をより多くの方々に知っていただくために非会員は、シンポジウム、特別セッションのみであれば参加無料になります

- ・ 昼食 お弁当は6/30分のみ事前にご注文を受け付けます(1,000円)
- ・ 懇親会費 4,000円 名城大学天白キャンパス
『タワー75 レセプションルーム』

2. シンポジウム

2020東京オリンピック・パラリンピックまであと1年となりました。2019年度の文化経済学会<日本>研究大会でのシンポジウムでは、テーマを「2020東京オ

リンピック・パラリンピック大会によるソフトレガシーの形成・継承」として、オリンピック・パラリンピックのレガシーを、事業資産・知的資産のみならずそれらの基盤となる情的資産と捉え、どのように受け継ぐべきかではなく何を残すべきかについて検討します。

オリンピック・パラリンピックの経験による幸せの獲得、平和の保持など創造経済の礎となる感性・共感力を備えた人的資源・人材育成といったソフトレガシーについて、トップアスリートを交え「オリンピックは何を残したか」、「オリンピック・ムーブメント」、「文化プログラム」の三点から議論を深めます。

3. 特別セッション

特別セッションは、2020東京オリンピック・パラリンピックに関連がある2つのテーマを用意しました。

特別セッションIは、2020年度には4000万人の海外訪問者が予定されている観光です(実際、2018年度は3100万人余りの方が日本を訪れました)。そのテーマは、「観光と文化経済学～<文化>のまなざしと<経済>の視点の交差～」です。そして、文化経済学的観点から、以下のように深く分析を進めます。というのも、近年、我が国における「観光」の重要性が増しつつあります。その背景には当然、地域経済の活性化に対する観光産業による貢献へ大きな期待があります。しかしながら即効的な地域経済への波及効果のみを求めているは本当の意味で地域を幸福にすることはできないでしょう。そこで、本セッションでは、地域がもつ固有価値を大切に、地域経済と地域文化が歩調を合わせるオルタナティブな観光のあり方を探ることを目指し、観光文化政策を専門とする当学会理事・井口貢氏と民俗学者でもあり観光と文化に造詣が深い二人のゲストによる鼎談形式で進めていきたいと思っております。

特別セッションIIは、内外ともに注目され、文化交流だけでなく、輸出入額の増大という経済的要因からも重要になりつつある<食文化>です。テーマは、「食(文化)

の海外展開 - その可能性と課題」です。繰り返しになりますが、日本の「食文化」が世界的に注目されています。2020年東京オリンピック、2025年大阪万博とインバウンド客の増加も見込まれているという現状から、さらに認知度が高まると思われます。この流れは2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、拍車がかかったといえましょう。

海外では寿司から始まった伝搬はラーメン、てんぷら、たこ焼き、おにぎり、日本酒など多岐に渡る品目で展開しているとされます。ただし、あくまで日本の「食文化」としての「和食；日本人の伝統的な食文化」はユネスコ無形文化遺産登録時に4つの特徴が指摘されています。

- ① 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重
- ② 健康的な食生活を支える栄養バランス
- ③ 自然の美しさや季節の移ろいの表現
- ④ 正月などの年中行事との密接な関わりです。

現在、伝搬している日本の「食文化」はどちらかというところ庶民食といえるでしょう。そこで、本セッションでは「食」に造詣の深いパネリストを迎え、文化と経済の関わりに注目しつつ、日本の「食文化」の海外展開の可能性について議論していくものです。

4. 会員企画セッション

皆様からの公募をもとに今年度は下記の3つのテーマが決定いたしました。

- ① 劇場における芸術を通じた社会関係資本の形成について - 「ala まち元気プロジェクト」の事例から -
- ② 地域社会と芸術のしなやかさ
- 変容し続けるシンガポールから日本への示唆 -
- ③ 創造する地域社会の構想

大勢の皆様のご参加をお待ちしております。



5. 研究大会関連企画 new!!

「世界劇場会議名古屋フォーラム 2019」6月28日に開催

2019年度研究大会の前日に、文化経済学会<日本>が後援する「世界劇場会議名古屋フォーラム 2019」が開催されます。メインテーマは、「大規模複合文化施設の改修事例～愛知芸術文化センターのリニューアル～」です。1992年に開館した愛知芸術文化センターは、大規模空間の吊り天井（特定天井）や舞台設備の本格的な改修などを行い、今年の4月に整備が完了しました。複合施設ならではの利点を活かし、各施設を稼働しながら計画的に順次休館しつつ改修を進め、同時に舞台管理者からの様々な意見を受けながら実施した改修事例です。行政の考え方、設計者の話に続き、直接関わった舞台管理者や舞台設備メーカーも登壇し、より具体的な改修内容が紹介されます。

また、今年8月から愛知県で開催される「あいちトリエンナーレ 2019」の紹介もあります。

■主催：NPO 法人世界劇場会議名古屋（ITCN）

■日時：2019年6月28日（金）

14:00～18:15（受付13:30～）

■会場：愛知芸術文化センター 12階アートスペースA

（名古屋市東区東桜1-13-2）

◎18:30～20:00 交流会

◇交流会会場：

ウルフギャング・パルク愛知芸術文化センター店
（愛知芸術文化センター10階）

◇参加費：一般2,500円 学生1,500円

◇交流会参加費：5,000円

■申込先：

NPO 法人世界劇場会議名古屋

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-12

グランビル 2B

TEL&FAX 052-232-2270

E-mail itcn@itc-nagoya.com

詳しくは、<http://www.itc-nagoya.com>

※学会研究大会の申込みとは別に、直接主催者（ITCN）にお申し込みください。

6. スケジュール

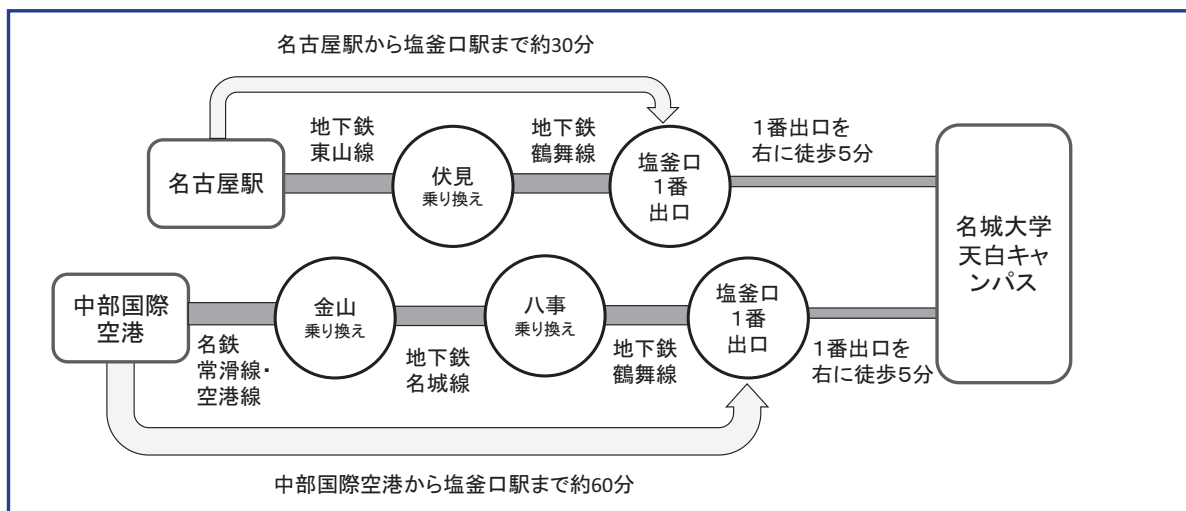
※敬称略

6月29日(土)	10:00～11:45 11:50～12:50 13:00～15:00	分科会① 理事会 特別セッションⅠ 「観光と文化経済学～＜文化＞のまなざしと＜経済＞の視点の交差～」 パネリスト： 神崎宣武（旅の文化研究所所長） 小泉 凡（島根県立大学短期大学部名誉教授・小泉八雲記念館館長 （小泉八雲曾孫） コーディネーター： 井口 貢（同志社大学政策学部教授） 特別セッションⅡ 「食（文化）の海外展開－その可能性と課題」 パネリスト： 加藤雅士（名城大学農学部教授） 太下義之（文化政策研究者・独立行政法人国立美術館理事） 鈴木里加子（フードコーディネーター・法政大学大学院地域創造システム 研究所 特任研究員） コーディネーター： 増淵敏之（法政大学大学院政策創造研究科教授）
	15:15～17:40 18:00～19:30	シンポジウム 「2020 東京オリンピック・パラリンピック大会によるソフトレガシーの形成・継承」 キーノートスピーカー： 舛本直文（首都大学東京大学院人間健康科学研究科特任教授） 谷本歩美（コマツ女子柔道部助監督／アテネ・北京オリンピック金メダリスト） 吉本光宏（ニッセイ基礎研究所社会研究部研究理事） パネリスト： キーノートスピーカー3名 八木 匡（同志社大学経済学部教授） コーディネーター： 横山勝彦（同志社大学スポーツ健康科学部教授） 懇親会 名城大学天白キャンパス タワー 75 レセプションルーム
6月30日(日)	10:00～11:45 11:50～12:30 12:30～13:30 13:30～15:15	分科会② 総会 プログラム委員会 分科会③

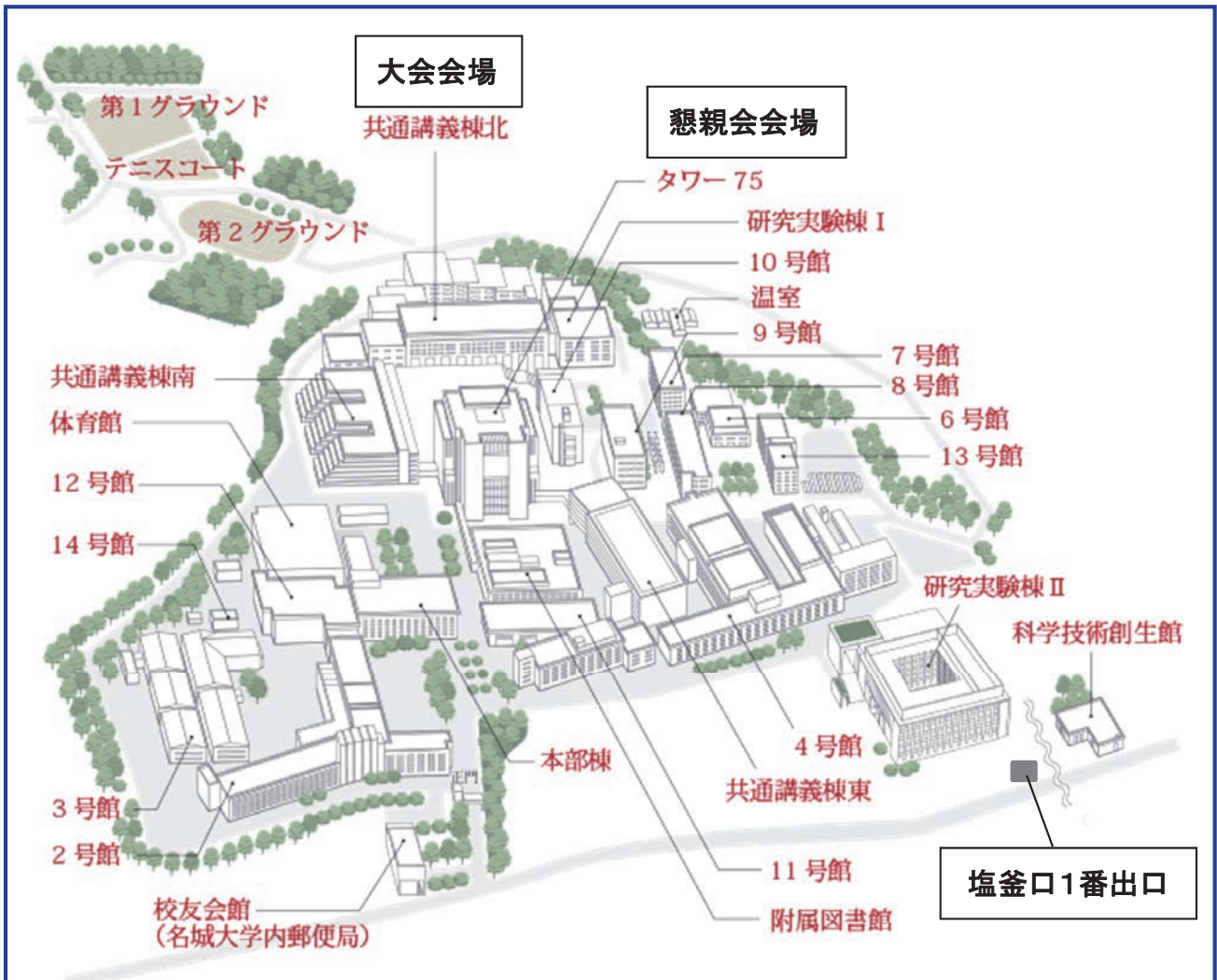
7. 研究発表申し込みおよび参加申し込みについて

- ・大会予稿・フルペーパー受付：**終了しました**
- ・参加申し込み：**5月7日(火)～6月13日(木) 18:00 締め切り**
 学会ホームページよりオンライン、もしくはFAX・郵送にて受付予定

研究大会 会場案内 (名城大学天白キャンパス)



天白キャンパス 研究大会会場フロアマップ

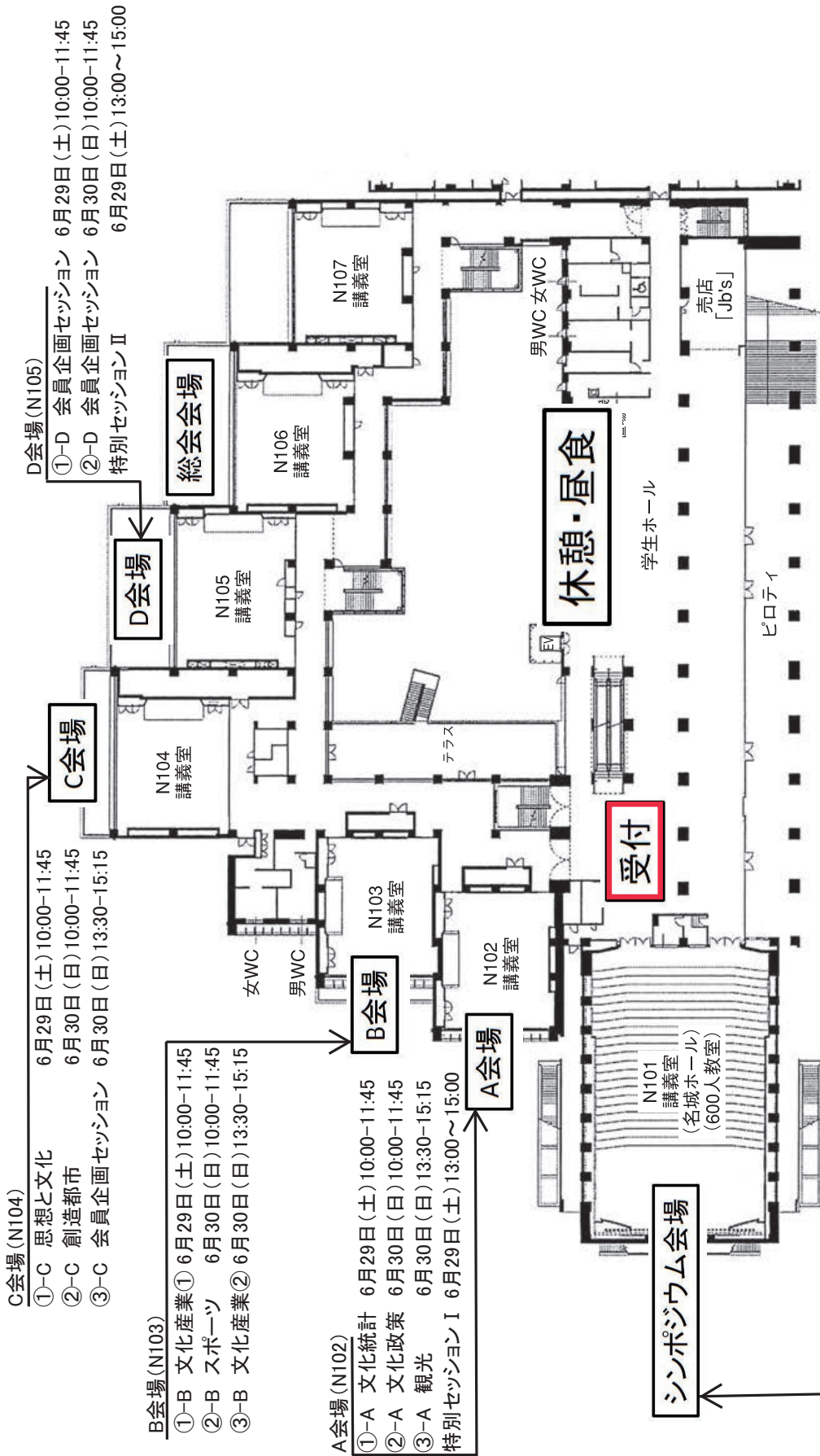


天白キャンパス⇒ 地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前」駅下車、1番出口（右）徒歩約4分

分科会 会場案内

2019年度研究大会 1日目会場:6月29日(土)	
分科会①	6月29日(土)10:00-11:45
① -A 文化統計	A会場 (N102)
① -B 文化産業①	B会場 (N103)
① -C 思想と文化	C会場 (N104)
① -D 会員企画セッション	D会場 (N105)
	劇場における芸術を通じた社会関係資本の形成について — 「alaまち元気プロジェクト」の事例から—
特別セッション	6月29日(土)13:00~15:00
特別セッション I	A会場 (N102)
	観光と文化経済学 ～<文化>のまなざしと<経済>の視点の交差～
特別セッション II	D会場 (N105)
	食(文化)の海外展開—その可能性と課題
シンポジウム	6月29日(土)15:15~17:40
シンポジウム	N101会場 (名城ホール)
	2020 東京オリンピック・パラリンピック大会による ソフトレガシーの形成・継承
2019年度研究大会 2日目会場:6月30日(日)	
分科会②	6月30日(日)10:00-11:45
② -A 文化政策	A会場 (N102)
② -B スポーツ	B会場 (N103)
② -C 創造都市	C会場 (N104)
② -D 会員企画セッション	D会場 (N105)
	地域社会と芸術のしなやかさ —変容し続けるシンガポールから日本への示唆—
分科会③	6月30日(日)13:30-15:15
③ -A 観光	A会場 (N102)
③ -B 文化産業②	B会場 (N103)
③ -C 会員企画セッション	C会場 (N104)
	創造する地域社会の構想

共通講義棟北(N館)配置図



1階